

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 21

ぶるーむ.com

2013.10

あきごう  
秋号

じぶん せいかつたの  
～ 自分の生活楽しんでますか? ～

つか さま  
わっしょいお疲れ様です!!



# CONTENTS

P2 だいひょうかいきぎねん  
代表快気記念!!

P4 なおみちゃんぶゆう  
なおみちゃん舞遊デン

P6 Oh-Life!! だい かい  
第6回

P8 ひ び ほんほん  
日々凡

P9 かつどうほうこく  
ぶるーむ活動報告

## ◆「ぶるーむ」の由来◆

えいご bloom をひらがなひょうき  
英語のbloomをひらがな表記したものです。

bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業  
などが)花開く」などの意味があります。この

きたきゅうしゅう ち じりつせいかつ じょう  
北九州の地で、自立生活の土壌をあらため

ておこすことから始め、それぞれの自立生活

たね う いろ いろいろ じりつせいかつ はな さい  
の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲

きほこるといふ願いをこめました。

きじ か ひさ じつ としあ そうそう にゅういん ふた  
記事を書くのは久しぶりになります。実は、年明け早々から入院をしまして、二つ  
びょういん わた ある たいいん はんとしご たいへん  
の病院を渡り歩き、退院したのは半年後。とにかく大変でした。

なぜ入院したかという、リウマチとお尻のジョクソウ、いわゆる床ずれです。去年の  
がつ たま ちょうきこうざ う ころ かんせつ いた  
11月に多摩でピアカンの長期講座を受けている頃から関節が痛くなってきたんです。そ  
ご さべつきんしほう けんしゅうかい まいしゅう とうきょう い むり かさ とし  
の後も差別禁止法の研修会で毎週のように東京に行って無理が重なったんでしょうね。年  
あ お う きゅうせい い ちょうえん しゅうかんなに た  
が明けると、追い打ちをかけるように急性胃腸炎になってしまって、1週間何も食べられ  
じょうたい しり うみ  
ない状態に。これでいっきにお尻に膿がたまってしまいました。

きづ ことし ぼく ほんやく とし こども ころ しまん ゆうとうせい い ぼく  
気付けば今年は僕の本厄の年。子供の頃から自慢じゃないけど優等生と言われてきた僕  
にほん ころい い つた ちゅうじつ したが ゆうとうせい わら  
ですが、日本古来の言い伝えにここまで忠実に従う優等生になっちゃうなんて、もう笑う  
しかありませんね。

にゅういん わけ うんどうたい だいひょう ぼく ころ  
さて、入院となった訳ですが、やはり運動体の代表である僕としては、転んでもタダ  
お きたきゅうしゅうし だいいちこう じゅうどしょうがいしやにゅういん じ しえん じ  
は起きませんよ。北九州市で第一号となる「重度障害者入院時コミュニケーション支援事  
ぎょう りょうしゃ みずか からだ は ぎょうせい こうしょう  
業」の利用者になるべく、自らの身体を張って行政と交渉をしました。

こま もんだいてん だいいちこう りょうしゃ にゅういん  
細かい問題点はたくさんありますが、めでたく第一号の利用者になれました。入院して  
しゃかいへんかく しごと じりつせいかつ ほんとう ところ わらい  
いても社会変革の仕事ができる。自立生活センターって本当にいい所ですよ（笑）。

ころ お てん い かんごし たの  
転んでもタダでは起きないという点で言えば、看護師さんとのコミュニケーションは楽  
はんしん だい だんせい かんごし やきゅう はなし も あ  
しませてもらいました。阪神タイガース大ファンの男性看護師さんと野球の話で盛り上が  
ぼく おとこ いちばん め あ わか じよせい かんごし たいいんご こう  
りましたが、僕も男ですから、一番の目当ては若い女性看護師さんと退院後に合コンをや  
かくさく い かくさく にゅういん じ かいじょ はい  
るべくいろいろ画策をしました。言っておきますが、この画策は入院時の介助に入った  
だんせい かいじょしゃ てん ごかい わらい  
る一むの男性介助者もノリノリでやっていたので、その点、誤解のないように（笑）。

じよせい かんごし こころあた はなし い かんごし ひ かんじやたんどう  
女性看護師さんとの心温まる話とえば、看護師さんはその日の患者担当がシフトで  
まいにち き ぼく てんいんまえさいご ひ たんどう く ひと ぼく き  
毎日決まるのですが、僕の転院前最後の日の担当を、シフトを組む人がわざわざ僕のお気に  
はい かんごし あか はまさき  
入りの看護師さんにしてくれたのです。いやあ、うれしかったですね。赤いメガネの濱崎  
げんき  
さん、元気にしているかな？

かくさく ごとく ひとり かんごし とうかん れんらく と あ  
画策していた合コン。一人の看護師さんとメアドを交換して連絡を取り合っていたので  
ぼく にゅういん ながび れんらく しぜんしょうめつ ごとく かいさい いた つぎ  
すが、僕の入院が長引いちゃって連絡も自然消滅。合コン開催には至りませんでした。次  
にゅういん きかい さいちようせん わらい  
の入院の機会に再挑戦だ（笑）。

もちろん、今回の経験をもとに行政に対して先日要望書を提出しました。けっして合コ  
ン企画だけをしていただけではありませんよ。

じんせい はつ ちょうきにゅういん かぞく さまざま ひと やさ かん  
人生初の長期入院。家族をはじめ様々な人の優しさを感じることができました。ぶる一  
むのスタッフのみんなもありがとう。あなたたちが毎日病院に来てくれることでつらい入  
いんせいかつ の こ  
院生活を乗り越えることができました。これからもよろしくね。

ひとくち  
～一口メモ～

ざいたく にゅういんちゆう じゅうどしょうがいしゅ かいじょ ひつよう ざいたく な  
在宅であろうが、入院中であろうが、重度障害者には介助が必要です。在宅であれば慣  
かいじょしゅ まか にゅういんちゆう かんごし かいじょ ていきよう  
れた介助者に任せることができますが、入院中は看護師が介助を提供することになってい  
ふくし いりょうほけん にじゅう しきゅう せいど たてまえ  
ます。福祉サービスと医療保険のサービスを二重では支給できないという制度の建前があ  
るからです。しかし、いくら看護師が介助をしても慣れていないから、逆にそれ  
げんいん びょうじょう あっか おそ  
が原因で病状が悪化する恐れもあります。

せいど たてまえ な かいじょしゅ にゅういんちゆう かが じゅうどしょうがいしゅ  
制度の建前と慣れた介助者に入院中も関わってほしいという重度障害者のニーズとの  
すきま う かんが だ にゅういんじ しえん じゅうど  
隙間を埋めるために考え出されたのが「入院時コミュニケーション支援」なのです。重度  
しょうがいしゅ きぼう かいじょ かた な かいじょしゅ いりょうじゅうしゅ つた きたきゅう  
障害者の希望や介助のやり方を慣れた介助者が医療従事者に伝えるというものです。北九  
しゅうし ふくすう じちたい せいどか  
州市をはじめ複数の自治体で制度化されています。

しかし、コミュニケーション支援では、まどろっこしさは拭えません。コミュニケーション  
しえんじぎょう だんりょくてき うんよう ちと どうじ ちよくせつてき にゅういんちゆう な かいじょしゅ かいじょ  
ン支援事業の弾力的な運用を求めると同時に、直接的に入院中も慣れた介助者の介助を  
う せいどせつけい ちと うんどう ひつよう おも  
受けられる制度設計を求めていく運動が必要だと思ひます。

# ななみちゃんの舞遊デ！

いわい な お み  
岩井菜穂美

## 「そうだ！アメリカへ行こう」の巻

いま むかし ねんこくれん ていしやう こくさいしょうがいしやねん とし  
今はもう昔、1981年国連の提唱した“国際障害者年”という年があった。  
しょうがいしや かんぜん しゃかいさんか びやうどう こくさいてき しょうがいしや こと かんが  
障害者の「完全なる社会参加と平等」をスローガンに、国際的に障害者の事を考  
いちなねん  
える一年だ。

こくさい ねん ときどき にほん まつ さわ おわ  
“国際〇〇年”っていうのは時々あるけど、日本ではどれもお祭り騒ぎで終っ  
てしまうことが多い。とても残念なことだと思う。

こくさいしょうがいしやねん きらい なか ゆういぎ じぎょう  
“国際障害者年”もその帰来はあったが、その中で有意義な事業もあった。  
ひと にちべいこうりゅう じりつせいかつうんどう だいいちにんしや すうめい  
その一つが「日米交流セミナー」。アメリカの自立生活運動の第一人者を数名  
しょうへい ぜんこくすうかしょ こうえん ぶんかかいなど にちべい しょうがいしや けんしゅう  
招聘して、全国数ヶ所で講演や分科会等で日米の障害者リーダーが研修する  
というもの。これが北九州市でも行なわれた。有志で実行委員会を立ち上げ準備に  
と  
取りかかった。

こくない こうし よ けんしゅうかい けいけん  
国内の講師を呼んでの研修会とかはやった経験あるけど、アメリカから、そ  
れも1人じゃない（確か4、5名は来たと思うから）、大変だった。言葉の問題  
り だし めい おも たいへん ことば もんだい  
がまず大変。予算は限られてるし、でも障害者問題を話し合うのだから、通訳も  
たいへん よさん かぎ しょうがいしやもんだい はな あ つうやく  
誰でもって訳じゃないし……。どこの誰にお願いしたかとか全然覚えてない。

わたし ぎょうかい あいさつ  
私もまだこの業界（？）ではひよっ子だったけど、挨拶  
なに ぶんしょう よ きおく ぶんかかい しょうがいしや  
が何か文章を読んだ記憶がある。分科会はなぜか障害者ス  
えら  
ポーツを選んだ。



べんきやう いんしやう のこ  
いろいろ勉強にもなったけれど、いちばん印象に残った  
しょうがいしや じつ あか はつらつ  
のはアメリカの障害者リーダーが実に明るく澆刺とイキイキしていることだ  
た。

どうして、アメリカではあんな風ふうに生きれるんだらう？ アメリカってとても  
素晴らしい国くにみたいだし、アメリカ行いきたいなあ。

そこで、またまた悪い癖くせが……、

「そうだ！ アメリカへ行いってみよう!!」

次号へつづく(^o^)/~~

わっしょい百万夏祭りに参加しました！！

KII

ちょっと前まえになりますが、今年ことしも「わっしょい百万夏祭り」に参加しました。  
売り物うものは去年きょねんと同じく、飲み物おなのもの（ジュース・酒さけなど）やバリあ（揚げ春巻はるまき）でし  
た。お祭り当日まつとうじつは、天気てんきが不安定ふあんていだったこともありましたが、みんなみんなで協力きょうりょくし  
あって楽しく乗り切のりきることができました。ちなみに、KIIも初日しょいちの午後ごごに売り子うりこ  
として参加さんかしましたよ！！かなり頑張がんばって（超主観ちょうしゆかんてき）声こえをだしていたので、次  
の日ひかなり喉のどが痛いたかったです。あと個人的こじんてきですが、チョコチョコのバリバリがとても美味おいし  
かったです（笑わらい）協力きょうりょくしてくれたみなさまみなさまありがとうございました！！

※表紙の写しゃ真しんは、打うち上あげの時ときの写しゃ真しんです。



# Oh-Life

K II

## 第6回 第二次聖地旅行 前編

季節は春の桜の咲き始める頃だったろうか。僕は千葉の幕張メッセで夏に開催されるアニメのライブに行くことを決断した。「僕にとって秋葉原は、“全て遠き理想郷”なのかもしれない」と僕は去年の会報で書いた。この言葉の通り、僕自身、自分が関東方面に進出することは、少なくともあと数年はかかると思っていた。だが、毎年恒例の北九州で開催されるアニソンイベントに参加し損ねた僕は、自分でもビックリの底力を出してしまい、去年の会報から一年も経たずしての関東進出となった。

関東方面に行くためには、当然だが飛行機に乗る必要がある。そして、僕にとっては人生初の飛行機だった。初めての飛行機+関東進出ということで、「飛行機にトラブルがあったらどうしよう?」「向こうって人多いのかな?」など、色々な考えが僕の頭の中をめぐっていた。いくらヘルパーさんと一緒であっても、不安でいっぱいなのである。こういう状態を俗に「テンパってる」というのだろうが、このイベントに対する気合いで、何事もなく当日を迎えることができた。

車椅子の人たちが飛行機に乗るためには、予定の出発時間よりもかなり早く空港に行かなければならない。空港に着いて受付を済ませた僕は、飛行機用の車いすに乗り換えて(僕の電動車いすは飛行機の貨物室に預けられます)手荷物検査の場所に向かった。

健全者は手荷物検査の際、自分自身と荷物を機械に通せば良いだけだが、障害者は機械を通れないので、空港のスタッフに触診をされることとなる。それを女性のスタッフから聞いた僕は凄絶な勘違いをしてしまった。「マジ!? 綺麗なお姉さんからの触診??この人たち空港にいるけど、スッチーだよな? CA って言われる人たちだよな?」まさにド M冥利に尽きるイベントに僕のテンションは一瞬でメーターを振り切ってしまった。幸福の絶頂の中にいる僕だったが、後から現れた男性のスタッフの「すいません、触診をさせていただきます」という一言で、早々に僕の幻想はブチ壊されてしまった。

そんなこんなで飛行機に乗って東京に出発することができた。飛行機が離陸・着陸する時に耳が痛くなるとよく聞いていたが、幸いにも何とも無かった。雲の上に出た時、オタクな僕は、「ここには一体くらいファンタジーな生物がいるのではないか？」と少し期待していたのだが、もちろんそんなことは無かった。だが、ちょうどこの日は晴天だったので本当に素晴らしい景色を見ることができた。

人生初の空の旅を充分に楽しんだ僕は、ついに憧れの関東に到着した。飛行機から降り、ロビーで預けていた自分の車いすを受け取った僕は、イベント会場の幕張メッセに向かった。空港から会場までは、電車を乗り継ぎながらいくことになる。電車の中から東京を楽しみたい僕であったが、初飛行機の疲れのせいか、電車に乗ってすぐに爆睡してしまった。この後も色々とトラブルがあったのだが、どうにか会場にたどり着くことができた。

今回、僕は、主催者側が用意してくれた障害者用の席でライブを観ることにしていた。いつもの障害者席と同じ端っこだったが、かなり前の方に席があったので、歌っているアーティストを無理なく観ることができた。ライブの内容は、歌の選曲からサプライズのタイミング、そして演出まで本当に最高だった。ライブの曲は全てアニソンなのだが、やはり生で聴くと迫力が断然違うのである。そんなライブを楽しんでいる僕に異変が起こった。ライブが進んでいくのと同じ時に音が聞こえ辛くなっていくのである。理由はすぐにわかった。それは、障害者席の真横に巨大スピーカーが設置されていたからである。普段から大きな音に慣れていない僕にはかなりキツかったが、ライブの終盤は「心で聴く」(笑)ことでこのライブを最後まで楽しみ切ることができた。

ライブ終了後のことは正直よく覚えていない。午前中の疲れに加え、約5時間ぶっ通しのライブを乗り切った僕は、体力の限界だったのだろう。ただ、このライブに参加できた喜びと、それから二日間ほど続いた耳鳴りだけはよく覚えている。



今年も残りわずかとなつてまいりました。みなさん、今年一年でやらなければならないことは済ませましたでしょうか。私自身はやり残した事がいくつかあります。今年は「新しいことにチャレンジ」と言うことでサーフィンをしようと思つていたのですが、大人の都合で出来なかったので来年の夏はチャレンジしたいですね。

9月にお世話になつた方のお墓参りにいってきました。今でも故人を偲んで、多くの方がお参りにきているようです。

東日本大震災からもうすぐ三年が経ちますが、復興の状況を知らせるニュースがどんどん少なくなつてきています。復興が進み、住人たちの生活が元に戻っているからでしょうか。しかし現在でも多くの住人が仮設住宅での生活を続け、その中で家庭内暴力（DV）が他の地域より多い確率で発生しています。

自分の周りを見てみると、コンビニの募金箱で東日本大震災を扱っている募金箱は見る事がなくなりました。テレビやネットニュースの中でも見かけません。福島原発以外のことは目にする機会が本当になくなりました。

ぶるーむが行っている「社会を変える」「地域を変える」運動も、長く継続的に行わなければなりません。震災復興も長く時間とお金がかかるでしょう。問題はその声をみんなが聞かなくなったとき、また声を出す人がいなくなった時に忘れられるのでしょうか。震災現場の人たちは日本のみならず自分たちのことを忘れられているのではないかという焦燥感を感じ、不安になることもあるのではないのでしょうか。

支援というものは長期的な関わりを必要とする場合があります。ぶるーむの活動も、震災復興も、当事者、被災者が自立して「大丈夫」と声をもらいはじめて完結するのではないのでしょうか。

今年も終わり、震災から三年目に入る前に、もう一度「絆」という言葉について考えてみる機会ではないのでしょうか。

自分も長く支援していけるように勤勉に、体調に気をつけ、お酒を少し減らしてみようかと思っています。



# ぶるーむ かつどう 活動 ほうこく 報告

へいせい ねん がつ  
平成25年5月～

がつ  
5月



イオンレシートキャンペーン

ピアカウンセリング ちょうきこうざ 長期講座・こうき 後期

よろず!!-39-

ちょうり  
調理 I L P

けんしゅう  
ヘルパー研修④B

しょうがいしゃ かいじょしゃ かんけいづく  
「障害者と介助者との関係作り」

ピアサポートグループ

ぜんこく なごや  
J I L 全国セミナー in 名古屋

けんしゅう  
J R カスタマーサポート研修①

がつ  
6月



そうていしき  
ライオネスクラブ贈呈式

ピアサポートグループ

イオンレシートキャンペーン

しんにゅうしゃいんじつぎけんしゅう  
J R 新入社員実技研修①

そうだんしえんけんしゅう  
相談支援研修

ほうもん  
C I L イルカ訪問

しんにゅうしゃいんじつぎけんしゅう  
J R 新入社員実技研修②

へいせい ねん がつ  
平成25年7月まで

がつ  
7月



ピアサポートグループ

しんにゅうしゃいんじつぎけんしゅう  
J R 新入社員実技研修③

けんしゅう  
J R カスタマーサポート研修②

ピアサポートグループ

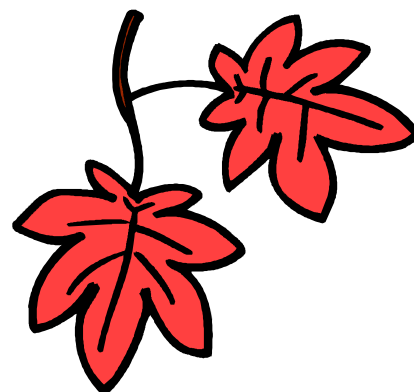
しんにゅうしゃいんじつぎけんしゅう  
J R 新入社員実技研修④

すいしんきょうかいとうきょうけんしゅう  
推進協会東京研修

けんしゅう  
J R カスタマーサポート研修③

きゅう  
B 級 こんば

おおいたけんしょう なかつ  
2013 大分県障がいフォーラム in 中津



へん しゅう こう き  
**編集後記**

暑かった夏もやっと終わりましたね☆この夏も、わっしょい百万夏祭りで、飲み物、揚げ春巻きの販売で、みんなでワイワイ参加しました。お手伝いして下さった皆様、買いに来て下さった皆様、ありがとうございました(^\_^)来年も、売るぞお！！

【 ⑤ 】

■ **ロゴについて** ■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■ **会員募集** ■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となっていて行っていることです。これは、「障害者」にとって何が必要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会 員 種 別	年 会 費
正会員	3,000円
賛助会員	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店  
 □座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平  
 □座番号：1694039

編集人 連絡先 NPO法人 自立生活センターぶるーむ  
 〒803-0818  
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F  
 TEL 093-562-5431  
 FAX 093-583-3257  
 E-Mail [cil-bloom@nifty.com](mailto:cil-bloom@nifty.com)  
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>  
 定価 100円